

アドベンチャーキャンプin荒神山

開催しました！

昨年は、日帰りのデイキャンプを実施しましたが、今回は1泊2日で湖東定住圏事業である「アドベンチャーキャンプ in 荒神山」を9月24日(土)～25日(日)にかけて彦根市荒神山自然の家のキャンプ場で行いました。本来であれば、愛荘町、多賀町、甲良町、豊郷町から多くの小学生が参加して活気がある活動になるのですが、彦根市内からの15名の参加者で実施しました。例年であれば20名ほどの参加者がいるのですが、今年はこじんまりとした開催となりました。人数が少ないぶんこまわりがきき、また違った雰囲気です充実した活動を行うことができました。

しかしながら、天候には悩まされました。台風の発生でやきもきしましたが、直接影響はなかったものの前日にはまとまった雨。テントサイトが心配されましたが、ほとんど影響もなく活動に入ることができました。ただ、残念なことに学校の運動会が雨に伴い順延されたこともあり、欠席や遅れて参加する子ども達もありましたが、参加した子ども達は元気一杯で自然の家に駆けつけてくれました。

午前10時に、少し緊張しながらも集会室に集合。「はじまりのつどい」で所員や支援スタッフの紹介と簡単な自己紹介日程の説明後、出会いのレクリエーションを集会室で小一時間気あいあいとした中で行いました。

はじめは堅かった雰囲気も、次第にほぐ



なっていました。



れ、みんなで一つの課題に向けて取り組んでいく様子はさながら一つの仲間といった様子でした。

鬼ごっこや自己紹介ゲーム、動きのあるゲームや考えて行うゲームなどさまざまなレクリエーション活動をお互いの気心が知れあうようにも

仲間づくり活動の後は、活動を通じて感じたこと、気づいたことなどを班で話し合い係分担を決定した後、健康観察を行ってよいよ本格的にキャンプの開始ですが、まずは腹



ごしらえということで食堂の「おにぎり弁当」をおいしくいただきました。

キャンプ場に移動して、テント設営に入りました。全体でつどいの広場で説明を聞きながら、テントを組み立て全員で協力してテントをサイトまで移動してその後、フライシートと風対策としてドロコードをくくりつけテントを固定し、ベッドメイク。できあがったときには、とても素敵な空間に早変わり。

荷物を移動して、臨戦態勢に入りました。

つぎは、「流木スプーン作り」です。オリジナルな部分が多いクラフト活動なので、世界に一本しかないスプーンを作ろうという目的のもと、黙々と取り組んでいました。スプーンの柄の部分は、少し技術が必要なのでスタッフや所員の力を借りました。この日に先立つこと1週間前の9月17日の土曜日に参加してくれた支援スタッフやインターンシップの大学生が事前研修をして技術を磨きました。そして、当日の本番。練習のかいあってスムーズに活動ができました。



それぞれが出来上がったスプーンを眺めて、いわゆる悦に入っている様子がとても印象的でした。きっと自宅でも大切に使うと、その様子を所員は眺めていました。



夕食作りです。野外活動のだいご味である野外炊事。メニューはカレーときのご料理です。また、飯盒で炊いたご飯のおいしいこと。おいしいこと。パクパクとご飯をほおばり、満腹満足。みんなで協力して作ったご飯がこれほどおいしいとは驚きでした。

野外炊事後始末が終わったグルー

プから夕食後の夜の活動であるナイトハイクに行きました。グループにランタンが一つ渡され、自然の家設定のA(おばけ)コースがチョイスされました。途中2つのミッションが用意され、第1ミッションは所員のニックネーム(キャンプネーム)、第2ミッションとして北極星探し。この2つのミッションをクリアして約30分ほどのウォーキングをしました。グループのみんなが近くに寄り添っている姿が微笑ましかったです。帰って来た班からお風呂に入り、22時に就寝しました。



翌日は、午前6時に起床。健康観察やラジオ体操を済ませ、食堂で朝食をおいしくいただきました。前日夕方はやや風が冷たくなって心配しましたが、すこし時間の変更や調整をして体を冷やさないようにしてテントに入り就寝したので、心配していたほど寒くはなかったようで一安心しました。

従来であれば、最後に全体写真撮影ですが、せっかく撮った写真も手元に届くのが遅くなってはと、今回からおわりのつどいまでに写真を完成して手元に届けようという企画で、朝のつどい後に写真撮影を済ませました。その後、スタッフに挑戦というおまけの活動で丸太の上を落っこちずに入れ替わる遊びでしばらく時間を過ごしました。

最初の活動は、「チャレンジウォークラリー」です。

班で協力しながらチャレンジメニューをクリアしていく。班でそろって行動する。走らず安全に行動する。という基本姿勢を確認して、コース地図を手掛かりに途中で問題を解いたり、ゲームをしたり、チ



ェックポイントを通過したりと課題をこなし



ながら進んでいきました。普段歩かない山の中の道。足を取られたりもしながら一步一步踏みしめて歩いていきました。

みんなが無事ゴールして、しばし休憩後にテントを片付けいよいよフィナーレへ。その前にまずは腹ごしらえ。食堂で牛丼とうどんをおいしくいただき満足顔。その後、クラフト棟に戻り、食後のおやつにアイスクリームをみんなで協力分担して作成しました。一言で作るといっても、結構大変な作業で、氷の中に入れたアイスクリームの素を力の限



り振り続けます。みんなで協力しないとできないということにみんなは納得。でもできあがったときには大きな歓声。そして一口ほおぼってまた歓声。感激のシーンの連続でした。

最後に、おわりのつどいをして解散となりました。

こうして予定していたプログラムをすべて終了し、終わりのつどいをして解散

しました。子どもたちのアンケートには、「協力することや工夫することの大切さが分かった。」「今年一番楽しかった。」「また、参加したい。」などの感想が書かれており、無事盛況に終えることができました。

帰途につく参加者の子どもたちの晴れやかな表情に、所員ならびに支援スタッフも一安心。そしてなによりは、天候。天気予報では、雨予報でした。しかし、なんと当日朝は快晴。天候にも恵まれ楽しくまた、けがをする子どももなく安全に二日間が終了したことが何よりでした。



今後も自然の家は、魅力的な自然体験活動を展開しながら皆様のおいでをお待ちしております。また、参加いただいた支援スタッフの方々およびインターンシップとしてお手伝いいただいたびわこ成蹊スポーツ大学の方々、お世話になりありがとうございました。

